

令和 8 年度延岡 IT カレッジ事業業務委託 プロポーザル審査基準

評価項目		評価基準	配点	
1	業務内容、 実施手法	研修プログラムの構築にあたり、業務の趣旨及び目的を十分に理解したうえで、市内事業者の業種や、本市の産業構造等を理解し、市内事業者におけるデジタル化に向けた様々な課題や改善点を的確にとらえ、関係機関と連携を図りながら、DX 推進のための人材育成につなげることができる提案となっているか。	10	85
		IPA 及び経済産業省策定「デジタルスキル標準」の視点や生成 AI、論理的思考を育成するプログラムが盛り込まれており、受講者のニーズを的確にとらえ、生成 AI をはじめとした実践的なデジタルスキルの習得が可能な提案になっているか。	10	
		事業者コースのカリキュラムの内容について、本事業が、事業者の実課題を生成 AI をはじめとしたデジタル技術をもって解決することを目的としたものであることを踏まえたうえで、その課題の抽出手法や課題解決手法について、有効性・実現性が高いプログラムを構築し、受講生への十分な支援が期待できるものであるか。	15	
		求職者コースのカリキュラムの内容について、デジタル人材として必要な基礎知識の習得や、生成 AI を活用した効率的・効果的なデジタル技術の展開方法、デジタルツールを活用した業務効率化、情報発信、課題解決等の業務遂行能力を身につけ、市内事業者において即戦力として活躍できるスキルの獲得を図れるプログラムが盛り込まれたものであるか。また、受講者ごとのポートフォリオの作成など、市内事業者への就職支援を平行して実施するものとなっているか。	15	
		学生コースのカリキュラムの内容について、生成 AI 時代に対応しうるデジタル技術等に関する基礎知識や情報リテラシー・AI リテラシー・データ活用力・問題解決力の基礎力の習得、変化する技術や社会環境に対応しながら自ら学び続ける取組姿勢の醸成を図ることができる提案になっているか。さらに、本プログラムを通じて市内事業者に対する興味・関心の醸成につながる構成となっているか。	15	
		各コースの受講生の募集に際して、募集方法が具体的に示されており、さらに、その方法が対象者に適した手法となっており、十分な応募が見込まれるか。	5	
		事業者コースの募集に際して、対象者が本研修を受講することで、自社にとってのメリットや修了後イメージできる情報を効果的に発信でき、受講者確保につながるものであるか。	5	
		求職者コースの募集に際して、対象者が本研修を受講することで、就職に直結するスキルの習得・定着、さらには成果物を通じたスキルの見える化が可能となる等を、効果的に発信することで、受講意欲を喚起し、受講者確保につながるものであるか。	5	
学生コースの募集に際して、対象となる学生が所属する市内高校等と連携を図り、本事業の取組内容を効果的に発信できるものであるか。	5			
2	業務実施体制 ・遂行力	円滑に業務を遂行するために必要な組織体制、人員配置となっており、学習の進捗管理を可視化し、進捗管理や習熟度の把握、各カテゴリーにおける補講や相談等の実施など、受講生のフォロー体制が十分整えられているか。	10	30
		同種又は類似業務の実績やノウハウはあるか。	10	
		実現性（実効性）がある提案になっており、各研修における到達点を達成するための、適切なスケジュールとなっているか。	10	
3	事業者の意欲、熱意、他	業務に対する取組意欲が高く、熱意が感じられるか。また、独自の提案がなされているなど、その他評価できる点があるか。	15	15
4	見積額	※点数は、（最低提案価格／提案価格）×配点（小数点第 2 位以下切り捨て）とする。  ※最高点 10 点（最も提案価格の低い者） ※提案価格が、本市の提示した限度額を超過している場合は、受託候補者としていない。	5	5
			計	135